

# 事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

事業区分 重点

<b>事業名</b>	児童家庭支援センター		
<b>所管課</b>	こども未来局こども部こども家庭課	<b>背景</b>	<b>事業を始めた理由(きっかけ)は何か</b>
<b>開始年度</b>	平成25年度		近年の虐待相談の急増、子育てに悩む家庭や里親からの相談、休日・夜間の相談対応など、施設入所に至らない段階での専門的かつ柔軟な支援体制が求められている。
<b>根拠法令</b>	児童福祉法		
<b>行政計画</b>			

基本計画				
<b>施策コード</b>	主	1-7-1		<b>施策成果指標</b>
	再			
<b>分野別目標</b>	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている			
<b>施策</b>	子どもが健やかに育ち、安心して生み育てられる社会づくり			
<b>事業群</b>	子どもの権利の尊重			

## 【事業概要】

<b>対象</b>	<b>誰(何)を対象として行うのか</b>	子育てに不安を感じている家庭・里親
	<b>対象をどのような状態にしたいのか</b>	虐待につながる過程での早めの相談と専門的支援により、子育てで不安を解消し、虐待の未然防止と再発防止を強化する。
<b>事業目的</b>		

<b>実施内容(手段)</b>	<b>平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか</b>
	NPOへ委託を行い、以下の相談業務等を実施する。 ① 休日・夜間(トワイライト)の相談対応 平日 ……………17時00分から20時00分まで 土・日曜日・祝日…10時00分から17時00分まで ※毎週火曜日又は水曜日、年末年始は休業 ② ファミリーホームや里親への支援 ③ 児童相談所からの委託による指導 ④ 一時保護の実施 ⑤ 区からの求めに応ずる事業

事業費(千円)		
平成28年度決算額(見込額)		
	<b>歳出合計</b>	25,658
<b>歳入</b>	<b>特定財源</b>	12,829
	<b>一般財源</b>	12,829
前年度決算額・翌年度予算額		
	<b>年度</b>	H27      H29
	<b>歳出合計</b>	22,555      26,016
<b>歳入</b>	<b>特定財源</b>	12,860      13,008
	<b>一般財源</b>	9,695      13,008

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

<b>事業フロー(ロジックモデル)</b>	<b>①活動アウトプット</b> (どんな活動を行うのか) ・子ども家庭支援センターの運営 2箇所運営中 ・窓口での相談対応 ・ファミリーホーム・里親研修の実施	<b>②結果アウトプット</b> (活動の結果、どうなるのか) ・子育て家庭が相談する。 ・ファミリーホーム・里親が研修へ参加する。	<b>③中間アウトカム</b> (その結果、対象はどうなるのか) ・子育てに悩む家庭の多くが相談により問題解消、または適切な機関で支援を受ける。 ・虐待通告件数が減少する。 ・ファミリーホームや里親のスキルアップ	<b>④最終アウトカム</b> (その結果、市としてどうなるのか) 虐待がゼロになる。																																																																										
	<b>活動の指標</b>	<b>成果の指標(KPI)</b>																																																																												
	<b>指標の内容</b>	<b>指標の内容</b>																																																																												
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td>目標</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">H 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td style="text-align: center;">200.0%</td> <td style="text-align: center;">100.0%</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">H 年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	年度	実績		目標		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	目標	1	2	2	H 年度	実績	2	2		達成率	200.0%	100.0%			目標			H 年度		実績					達成率				<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">H34年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td style="text-align: center;">64.3</td> <td style="text-align: center;">68.6</td> <td></td> <td style="text-align: center;">70</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">H 年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	年度	実績		目標		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	目標				H34年度	実績	64.3	68.6		70	達成率						目標			H 年度		実績					達成率			
年度	実績		目標																																																																											
	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度																																																																										
目標	1	2	2	H 年度																																																																										
実績	2	2																																																																												
達成率	200.0%	100.0%																																																																												
	目標			H 年度																																																																										
	実績																																																																													
	達成率																																																																													
年度	実績		目標																																																																											
	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度																																																																										
目標				H34年度																																																																										
実績	64.3	68.6		70																																																																										
達成率																																																																														
	目標			H 年度																																																																										
	実績																																																																													
	達成率																																																																													

# 事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

事業区分 重点

<b>事業名</b>	子育て見守り訪問員派遣事業		
<b>所管課</b>	こども未来局こども総合相談センターこども緊急支援課	<b>背景</b>	<b>事業を始めた理由(きっかけ)は何か</b>
<b>開始年度</b>	平成24年度		児童虐待防止のために、通告後48時間以内の児童の安全確認を求められており、特に職員の対応が困難な夜間、休日の安全確認体制を早急に整備する必要がある。
<b>根拠法令</b>	児童福祉法 児童虐待防止法		
<b>行政計画</b>			

基本計画			
<b>施策コード</b>	主	1-7-1	
	再		
<b>分野別目標</b>	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている		
<b>施策</b>	子どもが健やかに育ち、安心して生み育てられる社会づくり		
<b>事業群</b>	子どもの権利の尊重		
		<b>施策成果指標</b>	子育て環境満足度

## 【事業概要】

<b>対象</b>	<b>誰(何)を対象として行うのか</b>
	児童虐待を受けている疑いがある0歳から18歳未満の児童及びその保護者
<b>事業目的</b>	<b>対象をどのような状態にしたいのか</b>
	○児童が心身共に安全な状態であることを確認する。 ○保護者を適切な相談機関に繋げる。

<b>実施内容(手段)</b>	<b>平成28年度, 目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか</b>
	夜間、休日にこども総合相談センターに虐待通告が入った場合、センターから委託業者に連絡を取り、委託を受けた「子育て見守り訪問員」が2人体制で、家庭訪問を行い、児童を直接目視することにより、安全確認を行った。また、夜間、休日に保護者からの緊急保護の要請があった場合に、児童移送を行った。
	<b>【28年度実績】</b> ・実訪問世帯数 176件 ・延べ訪問件数 304件 児童を直接目視できた割合 44.4% ・児童移送 4件

事業費(千円)		
<b>平成28年度決算額(見込額)</b>		
	<b>歳出合計</b>	14,163
<b>歳入</b>	<b>特定財源</b>	4,052
	<b>一般財源</b>	10,111
<b>前年度決算額・翌年度予算額</b>		
	<b>年度</b>	H27      H29
	<b>歳出合計</b>	14,163      14,163
<b>歳入</b>	<b>特定財源</b>	3,757      6,277
	<b>一般財源</b>	10,406      7,886

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

<b>事業フロー(ロジックモデル)</b>	<b>①活動アウトプット</b> (どんな活動を行うのか)	<b>②結果アウトプット</b> (活動の結果, どうなるのか)	<b>③中間アウトカム</b> (その結果, 対象はどうなるのか)	<b>④最終アウトカム</b> (その結果, 市としてどうなるのか)
	夜間、休日にこども総合相談センターが受理した泣き声通告について、「子育て見守り訪問員」を家庭訪問させ、直接児童の目視により安全確認を行う。	夜間、休日においても、48時間以内の安全確認ができる件数が増加する。	児童の安全確認ができるとともに、育児不安などを抱えた保護者を早期に把握し、支援に繋げることができる。	子どもが安心して暮らせて、保護者も安心して子育てができる。
	<b>活動の指標</b>	<b>成果の指標(KPI)</b>		
	<b>指標の内容</b>	<b>指標の内容</b>		
			<b>実績</b>	<b>目標</b>
			H27年度	H28年度
			H29年度	最終年度
			H 年度	H 年度
			H 年度	H 年度
			H 年度	H 年度

# 事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

事業名	特別支援学校放課後等支援事業	
所管課	こども未来局こども部こども発達支援課	背景
開始年度	平成18年度	
根拠法令	特になし	
行政計画	特になし	
		事業を始めた理由(きっかけ)は何か 一般の学校に放課後の児童預かり先(留守家庭子ども会)があるのと同様に、特別支援学校の児童・生徒には放課後の預かり先がほしいとの強い要望や議会請願があった。

基本計画			
施策コード	主	1-7-3	
	再	2-3-1	
分野別目標	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている		
施策	子どもが健やかに育ち、安心して生み育てられる社会づくり		
事業群	地域における子育ての支援		
		施策成果指標	○子育て環境満足度 (平成28年度:65%, 平成34年度70%) ○地域での支え合いにより、子育て家庭や高齢者がくらしやすいまちだと感じる市民の割合 (平成28年度:50%, 平成34年度65%)

## 【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか 特別支援学校に通う児童・生徒とその保護者
	対象をどのような状態にしたいのか ・児童・生徒に放課後等の活動の場を提供。 ・保護者に就労やレスパイト(一時的休息)の時間を提供。

実施内容(手段)	平成28年度, 目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか ・放課後や土曜・長期休暇中、知的障がい特別支援学校(5箇所)、肢体不自由特別支援学校(2箇所)、病弱特別支援学校(1箇所)で実施する。事業内容については下記のとおり。 <実施日時> 平日: 学校終了後から午後6時30分まで 土曜・長期休暇中: 午前8時から午後6時30分まで <定員> 9名~15名(知的障がい), 10名(肢体不自由) <料金> 平日500円(今津は620円) 午前または午後のみ利用500円(今津は620円) 午前に引き続き午後も利用1,000円(今津は1,240円) <送迎> 原則保護者。 今津特別支援学校においては、事業終了後の送りを実施。
----------	--

事業費(千円)		
平成28年度決算額(見込額)		
歳出合計	147,151	
歳入	特定財源	112,396
	一般財源	34,755
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H27      H29
歳出合計	150,555	134,163
歳入	特定財源	115,427    102,239
	一般財源	35,128      31,924

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	<b>①活動アウトプット</b> (どんな活動を行うのか) ・安全かつ安心できる環境のもと児童・生徒の預かりを行う	<b>②結果アウトプット</b> (活動の結果, どうなるのか) ・児童・生徒が放課後等の活動の場を得る。 ・保護者が、就労や休息の時間を得る。	<b>③中間アウトカム</b> (その結果, 対象はどうなるのか) ・障がいのある児童・生徒及び、保護者の自由に過ごせる時間が増える。	<b>④最終アウトカム</b> (その結果, 市としてどうなるのか) ・障がい児の育成支援。 ・障がい児の保護者の子育てがしやすくなる。																																																																														
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">放課後等支援事業実施学校数</td> <td>目標</td> <td>7</td> <td>7</td> <td rowspan="3">7</td> <td>H 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>7</td> <td>7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>H 年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	指標の内容	実績		目標		年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	放課後等支援事業実施学校数	目標	7	7	7	H 年度	実績	7	7		達成率	100%	100%			目標				H 年度		実績						達成率					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">子育て環境満足度</td> <td>目標</td> <td>65</td> <td>65</td> <td rowspan="3">65</td> <td>H34年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>64.3</td> <td>68.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>98.9%</td> <td>105.5%</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">地域での支え合いにより、子育て家庭や高齢者が暮らしやすいまちだと感じる市民の割合</td> <td>目標</td> <td>50</td> <td>50</td> <td rowspan="3">50</td> <td>H34年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>36.9</td> <td>44.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>73.8%</td> <td>88.2%</td> <td></td> </tr> </table>	指標の内容	実績		目標		年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	子育て環境満足度	目標	65	65	65	H34年度	実績	64.3	68.6		達成率	98.9%	105.5%		地域での支え合いにより、子育て家庭や高齢者が暮らしやすいまちだと感じる市民の割合	目標	50	50	50	H34年度	実績	36.9	44.1		達成率	73.8%	88.2%	
	指標の内容		実績		目標																																																																													
年度		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度																																																																													
放課後等支援事業実施学校数	目標	7	7	7	H 年度																																																																													
	実績	7	7																																																																															
	達成率	100%	100%																																																																															
	目標				H 年度																																																																													
	実績																																																																																	
	達成率																																																																																	
指標の内容	実績		目標																																																																															
	年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度																																																																													
子育て環境満足度	目標	65	65	65	H34年度																																																																													
	実績	64.3	68.6																																																																															
	達成率	98.9%	105.5%																																																																															
地域での支え合いにより、子育て家庭や高齢者が暮らしやすいまちだと感じる市民の割合	目標	50	50	50	H34年度																																																																													
	実績	36.9	44.1																																																																															
	達成率	73.8%	88.2%																																																																															

# 事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

事業名	留守家庭子ども会事業	
所管課	子ども未来局子ども部放課後こども育成課	<b>背景</b> 事業を始めた理由(きっかけ)は何か 共働き世帯の増加等による学童保育ニーズの高まりを受け、仕事と子育ての両立支援と子どもの健全育成のため適切な遊びと生活の場を提供するために教育委員会が昭和41年度に2小学校で開設。以来、開設箇所を増やし、現在では20人以上の入会が見込める137小学校で開設している。
開始年度	昭和41年度	
根拠法令	児童福祉法 福岡市留守家庭子ども会事業の実施に関する条例	
行政計画	福岡市子ども総合計画	

基本計画			<b>施策成果指標</b> 子育て環境満足度 H28: 65% (政策推進プラン 中間目標値)
施策コード	主 1-7-3	再	
分野別目標	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている		
施策	子どもが健やかに育ち、安心して生み育てられる社会づくり		
事業群	地域における子育ての支援		

## 【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか	保護者が労働等のために昼間家庭にいない児童(小学生)
	対象をどのような状態にしたいのか	・入会要件のある児童を、学校敷地内の安全な環境下で受け入れる。 ・児童の自主性、社会性及び創造性の向上と基本的な生活習慣の確立を図る。
事業目的		

実施内容(手段)	平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか	・留守家庭子ども会の運営にあたっては、市から主任支援員(囑託員)を派遣するとともに、保護者や校区関係者、学校からなる校区ごとの運営委員会に委託し、地域住民も補助支援員として運営に協力するなど、地域ぐるみで子どもを見守る体制となっている。 ・利用児童の増加等に対応するため、支援員等を増員した。また、狭あい化が見込まれる5校について、専用施設の増改築を行い、新たに開設した子ども会1校については、専用施設の新築を実施した。 ・支援員等の資質向上に向けた研修を行うとともに、運営方法等の改善を検討するなど、運営の質の向上を図った。

事業費(千円)		
平成28年度決算額(見込額)		
歳出合計	3,231,755	
歳入	特定財源	1,881,433
	一般財源	1,350,322
前年度決算額・翌年度予算額		
年度	H27	H29
歳出合計	2,494,261	3,360,543
歳入	特定財源	1,733,777
	一般財源	760,484
		1,328,410

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	<b>①活動アウトプット</b> (どんな活動を行うのか) ・入会児童数の増加に対し、施設整備等(余裕教室の活用、専用施設の整備等)を行う。 ・必要な職員等を確保するとともに、研修等により資質の向上を図る。 ・巡回等により各留守家庭子ども会の運営状況を確認するとともに、必要な指導や制度改善の検討等を行う。	<b>②結果アウトプット</b> (活動の結果、どうなるのか) ・児童の支援に必要なスペースが確保される。 ・適切な人員により、より質の高い保育が行われる。 ・事業の趣旨を踏まえた、適切な運営が行われる。	<b>③中間アウトカム</b> (その結果、対象はどうなるのか) ・保護者等は留守家庭子ども会に児童を預けることで、安心して就労等に専念できる。 ・児童は、家庭に変わる生活の場をえることができ、生活習慣等が身に付く。 ・留守家庭子ども会の運営が円滑に行われ、職員の負担が軽減される。	<b>④最終アウトカム</b> (その結果、市としてどうなるのか) ・安心して子育てができる。 ・児童の健全育成が図られる。 ・保護者や地域により、子どもを見守る環境ができる。																																																																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">施設の整備件数</td> <td>目標</td> <td>5</td> <td>5</td> <td rowspan="3">5</td> <td>H 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>5</td> <td>6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>100.0%</td> <td>120.0%</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3"></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>H 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	施設の整備件数	目標	5	5	5	H 年度	実績	5	6		達成率	100.0%	120.0%			目標				H 年度	実績					達成率					<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">全ての対象児童を受入している施設数</td> <td>目標</td> <td>136</td> <td>137</td> <td rowspan="3">138</td> <td>H 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>136</td> <td>137</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3"></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>H 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	全ての対象児童を受入している施設数	目標	136	137	138	H 年度	実績	136	137		達成率	100%	100%			目標				H 年度	実績					達成率				
	指標の内容			年度	実績		目標																																																																											
		H27年度	H28年度		H29年度	最終年度																																																																												
	施設の整備件数	目標	5	5	5	H 年度																																																																												
実績		5	6																																																																															
達成率		100.0%	120.0%																																																																															
	目標				H 年度																																																																													
	実績																																																																																	
	達成率																																																																																	
指標の内容	年度	実績		目標																																																																														
		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度																																																																													
全ての対象児童を受入している施設数	目標	136	137	138	H 年度																																																																													
	実績	136	137																																																																															
	達成率	100%	100%																																																																															
	目標				H 年度																																																																													
	実績																																																																																	
	達成率																																																																																	



# 事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

事業区分 重点

事業名	子ども・若者活躍の場プロジェクト		
所管課	子ども未来局子ども部青少年健全育成課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
開始年度	平成24年度		福岡県の少年非行者率が、全国ワースト3位である等、非行少年やひきこもり等の困難を有する若者の立ち直り支援に向けた活動の場が求められていたため。
根拠法令	なし		
行政計画	なし		

基本計画			
施策コード	主	1-8-4	
	再		
分野別目標	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている		
施策	自ら考え、学び、行動する子ども・若者の育成		
事業群	子ども・若者の健全育成の取組み		
施策成果指標	・参加者の生活状況の改善 ※H29より「就労や就学に至った参加者数の増加」に変更予定		

## 【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	・立ち直りを必要とする非行少年やひきこもり等の子ども・若者 ・市内の困難を有する子ども・若者の支援を行っている団体
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	困難を有する子ども・若者に農業体験や栽培した野菜の販売体験等、さまざまな体験の場を提供することにより、参加者が自分の居場所を見つけ、自己肯定感を持ち、就労や更生に向けた一歩を踏み出すことができるようにする。

実施内容(手段)	平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	1 参加者による農作業及び農作物の管理 (月4回程度、毎週水曜日 各団体毎に実施)
	2 参加者が作付けから行った野菜を使用した販売会 ・玉ねぎを使用した万能ソース販売会 ・西区まるごと博物館への出店
	3 就労等に向けての勉強会 ・就労等へ向けた継続的な学びの場(39ゼミ) 月に1回程度実施
	4 団体間の情報共有及び交流のツールとして39 ふぁ～む通信の発行

事業費(千円)		
平成28年度決算額(見込額)		
歳出合計		2,933
歳入	特定財源	0
	一般財源	2,933
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H27      H29
歳出合計	3,078	2,933
歳入	特定財源	0      0
	一般財源	3,078      2,933

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	<b>①活動アウトプット</b> (どんな活動を行うのか) 農業体験(作付け、収穫等) 参加者の交流会 収穫物及び加工品の販売会	<b>②結果アウトプット</b> (活動の結果、どうなるのか) 集団の中で作業を行うことで、自分の居場所を見つけ、自己肯定感を持ち、社会性や主体性を身につけることができる	<b>③中間アウトカム</b> (その結果、対象はどうなるのか) 困難を抱える子ども・若者が就労や更生に向けた第一歩を踏み出すことができる	<b>④最終アウトカム</b> (その結果、市としてどうなるのか) 子どもの社会性や規範意識が育まれ、自立した社会人として成長する																																																																											
	活動の指標	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">参加団体数</td> <td>目標</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">7</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">H年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td style="text-align: center;">100.0%</td> <td style="text-align: center;">85.7%</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">※H29より下記の指標に変更予定 生活状況に改善が見られた参加者数</td> <td>目標</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">25</td> <td style="text-align: center;">H年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	参加団体数	目標	6	7	-	H年度	実績	6	6	-	達成率	100.0%	85.7%	-	※H29より下記の指標に変更予定 生活状況に改善が見られた参加者数	目標	-	-	25	H年度	実績	-	-	-	達成率	-	-	-	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">参加者の生活状況の改善</td> <td>目標</td> <td style="text-align: center;">11</td> <td style="text-align: center;">12</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">25</td> <td style="text-align: center;">H年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td style="text-align: center;">11</td> <td style="text-align: center;">23</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td style="text-align: center;">100.0%</td> <td style="text-align: center;">191.7%</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">※H29より下記の指標に変更予定 就労や就学に至った参加者数</td> <td>目標</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">H年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	参加者の生活状況の改善	目標	11	12	25	H年度	実績	11	23	-	達成率	100.0%	191.7%	-	※H29より下記の指標に変更予定 就労や就学に至った参加者数	目標	-	-	4	H年度	実績	-	-	-	達成率	-	-	-
		指標の内容			年度	実績		目標																																																																							
			H27年度	H28年度		H29年度	最終年度																																																																								
		参加団体数	目標	6	7	-	H年度																																																																								
実績			6	6	-																																																																										
達成率	100.0%		85.7%	-																																																																											
※H29より下記の指標に変更予定 生活状況に改善が見られた参加者数	目標	-	-	25	H年度																																																																										
	実績	-	-		-																																																																										
	達成率	-	-		-																																																																										
指標の内容	年度	実績		目標																																																																											
		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度																																																																										
参加者の生活状況の改善	目標	11	12	25	H年度																																																																										
	実績	11	23		-																																																																										
	達成率	100.0%	191.7%		-																																																																										
※H29より下記の指標に変更予定 就労や就学に至った参加者数	目標	-	-	4	H年度																																																																										
	実績	-	-		-																																																																										
	達成率	-	-		-																																																																										

# 事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

事業名	若者のぷらっとホームサポート事業	
所管課	子ども未来局子ども部青少年健全育成課	背景 事業を始めた理由(きっかけ)は何か 非行や不登校などが社会問題化し、困難を有する若者が気軽に立ち寄り、自由な時間を過ごす中で相互に相談しあうことのできるフリースペースをつくる必要があったため。
開始年度	平成24年度	
根拠法令	なし	
行政計画	福岡市子ども総合計画	

基本計画			
施策コード	主	1-8-4	
	再		
分野別目標	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている		
施策	自ら考え、学び、行動する子ども・若者の育成		
事業群	子ども・若者の健全育成の取組み		

事業区分	重点
・少年非行者率の低下	

## 【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか	非行や不登校傾向にある中高生を中心とした若者
	対象をどのような状態にしたいのか	対象者の非行防止や不登校予防などを通じ、社会性や規範意識を育む環境をつくり、自立した社会人として成長する。
事業目的		

実施内容(手段)	平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○若者居場所の運営(子どもNPOセンター福岡へ運営委託)</li> <li>・南区大橋にて毎週日曜日:計51回開催 のべ677名利用 (H28未確定)</li> <li>○実践団体や開設予定団体、市民を集めた交流会の開催</li> <li>2月28日 九大大橋サテライト 37名参加 (H28未確定)</li> <li>○開設・運営する団体に対するノウハウの提供</li> <li>○開設・運営する団体に対する財政支援</li> <li>・交付団体 5団体 (H28未確定)</li> <li>○事業の周知・広報</li> </ul>

事業費(千円)			
平成28年度決算額(見込額)			
歳出合計		3,579	
歳入	特定財源	0	
	一般財源	3,579	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	H27	H29
歳出合計		2,868	3,584
	特定財源	0	0
歳入	一般財源	2,868	3,584

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果, どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果, 対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果, 市としてどうなるのか)							
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者の居場所の運営, ノウハウの提供</li> <li>・フォーラム, 交流会, リーフ等による事業周知</li> <li>・開設・運営する団体に対する財政支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業内容の理解浸透</li> <li>・地域の居場所が拡充・定着</li> <li>・中高生の居場所利用者が増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非行や不登校傾向の緩和・予防</li> <li>・自己肯定感情等の醸成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会性や規範意識を育まれ, 自立した社会人として成長する</li> </ul>							
活動の指標	指標の内容	実績				目標					
	地域居場所の数	年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度
	目標		4	6	12	H年度	目標	9.0	7.3	7.3	H年度
	実績	8	11	-			実績	7.5	7.5		
	達成率	200%	183.3%	-			達成率	120%	97.3%		
	目標					H年度	目標				
	実績						実績				
	達成率						達成率				

成果の指標(KPI)

# 事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

事業区分	重点
------	----

事業名	ミニふくおか		
所管課	こども未来局こども部放課後こども育成課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
開始年度	平成24年度		○様々な体験を通して、自己を形成していく機会が少なくなってきた。
根拠法令	なし		○コミュニケーション能力や自立心、主体性、協調性などが低下している。
行政計画	第4次福岡市子ども総合計画		○子どもたちを社会全体で育む意識が希薄になっている。

基本計画			
施策コード	主	1-8-4	
	再		
分野別目標	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている		
施策	自ら考え、学び、行動する子ども・若者の育成		
事業群	子ども・若者の健全育成の取組み		

**施策成果指標**  
 ○地域の遊び場や体験学習の場への評価(地域の小中学生はさまざまな遊びや体験学習をする場や機会に恵まれていると感じる、高校生以下の子をもつ保護者の割合)(H28:60%)

## 【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	小学校3年生～大学4年生
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	仮想のまちづくりを遊びながら体験する事により、 ・子どもの創造性、主体性、自発性を育む。 ・子どものコミュニケーション能力を育む。 ・まちづくりへの参画意識を醸成する。 ・仕事体験を通じ、仕事や仕事の成り立ちへの興味を見出す。

実施内容(手段)	平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	○実行委員会形式にて、企画・運営を行う。 ○子ども実行委員会を設置し、10回のワークショップの中で、まちの仕組みやルール、配置、参加する子どもの役割を決定。 ○ボランティアスタッフが、子どもたちをサポート。 ○会場内は、子どもたちを中心に運営。 ○企業・団体から、協賛金・物資・人材の提供を受けて実施。
	【開催概要】
	●開催日: 28年8月23日(火)～25日(木)11～16時 ●会場: 九電記念体育館 ●参加者数: 延べ1,527人(開催3日間) ●協賛企業・団体数: 46社・団体

事業費(千円)			
平成28年度決算額(見込額)			
歳出合計		14,300	
歳入	特定財源	0	
	一般財源	14,300	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	H27	H29
歳出合計		14,300	14,300
歳入	特定財源	0	0
	一般財源	14,300	14,300

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)			
	・子ども実行委員会委員(以下「子ども実行委員」という。)を募集する。 ・ボランティアスタッフを募集する(子ども実行委員会及び当日運営)。 ・当日の参加者を募集する。 ・企業等にミニふくおかの趣旨や意義を伝え、協賛の協力依頼を行う。	・子ども実行委員、ボランティアスタッフ、参加者を決定する。 ・ミニふくおかの趣旨や意義を理解した企業等が協力してくれる。 ・子ども実行委員会を開催し、ボランティアスタッフや企業等の支援を得ながら、子ども実行委員が事業実施に向けた企画・準備を行う。 ・ミニふくおかを開催し、ボランティアスタッフや企業等の支援を得ながら、子どもたちが仕事体験や社会の仕組みを体験する。	・子どもたちが、まちの仕組みや仕事の成り立ち(何のためにある 等)を知る(参加者・子ども実行委員)。 ・子どもたち自ら考え、主体的に発言したり、動けるようになる(子ども実行委員)。 ・子どもたちの、コミュニケーション能力が高まる(子ども実行委員)。 ・子ども達が、ボランティアスタッフや企業等の支援を得ながらミニふくおかが実施されていることを知る。	・子どもたちが、自分の個性や強みを生かした将来について考えるようになる。 ・子どもたちの主体性・創造性が生まれる。 ・子どもたちのまちづくりへの参画意識が醸成される。 ・社会全体で子どもを育む機運が高まる。			
	活動の指標	指標の内容	年度	実績	目標		
		協賛・協力企業・団体の件数	H27年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度
		ミニふくおか当日の参加者数	H27年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度

成果の指標(KPI)	《参加者・子ども実行委員》 まちの仕組みや仕事の成り立ちを理解したという参加者等の割合	年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度
	目標	-		100		H 年度
	実績	-		93	100	
	達成率	-		93%		
成果の指標(KPI)	《子ども実行委員》 主体的に発言したり、活動ができるようになったという子ども委員の割合	年度	H27年度	H28年度	H29年度	最終年度
	目標	-		100		H 年度
	実績	-		93	100	
	達成率	-		93%		



# 事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

事業名	放課後等の遊び場づくり事業(通称:わいわい広場)	
所管課	こども未来局こども部放課後こども育成課	<b>事業を始めた理由(きっかけ)は何か</b> ○子どもの「遊び」には、人とのつきあいがわかる、体力向上、思いやり深く我慢強くなる、自分に自信が付き好きになる、情緒不安定の解消などの効用がある。 ○しかしながら、現代の子どもを取り巻く環境は、3間(時間・空間・仲間)がない状況であり、地域における自由に遊べる場所が少なく、外遊びや集団遊びをする子どもが少なくなっている。 ○この様な遊びの衰退が、体力低下、キレやすい子や無気力な子どもの増加につながっているとも言われていることから、自由に安心して大勢の仲間たちで遊ぶことができる場が求められている。
開始年度	平成15年度	
根拠法令	なし	
行政計画	第4次福岡市子ども総合計画	

基本計画			<b>施策成果指標</b> ○地域の遊び場や体験学習の場への評価(地域の小中学生はさまざまな遊びや体験学習をする場や機会に恵まれていると感じる、高校生以下の子をもつ保護者の割合)(H28:60%)
施策コード	主	1-8-4	
分野別目標	再		
施策	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている		
事業群	子ども・若者の健全育成の取組み		

## 【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか	小学校の児童
	対象をどのような状態にしたいのか	○子どもたちが、自由に遊べる場を増やす。また、外遊びする時間や集団遊びする子どもを増やす。 ○子どもたちの体力やコミュニケーション力の向上、ストレス解消、自尊心の醸成等が図られ、子どもたちが健やかに成長する。

実施内容(手段)	平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか	●校区運営委員会、民間事業者等に運営業務を委託し、助言等を行う運営協議会の設置や開催日の見守りに地域・保護者の協力を得て実施。 ①開催日:平日の週3日間程度 ②場所:校庭(一部体育館、校舎内特別教室等) ③実施校数:105校 ④参加児童数(延べ):242,788人
	●事業の活性化を図るため、人材育成事業や普及・啓発活動を実施。	(1)プレイワーカー養成講座<入門・実践編> 講座5日間、修了者数28人。現場実習3日間、のべ11人参加。
	(2)学生プレイワーカー育成事業	登録学生数47人。実習・支援日数(延べ)115日間。
	(3)関係者(現場責任者・補助員・プレイワーカー)研修の実施	
	(4)わいわい広場の意義・遊びの効用の普及・啓発活動	

事業費(千円)			
平成28年度決算額(見込額)			
歳出合計	290,486		
歳入	特定財源	93,666	
	一般財源	196,820	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	H27	H29
歳出合計	241,971	317,171	
歳入	特定財源	78,616	104,371
	一般財源	163,355	212,800

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	<b>①活動アウトプット</b> (どんな活動を行うのか) ・現場責任者、補助員、プレイワーカー(以下「PW」という。)に研修を実施する。 ・PW育成講座及び学生PW育成事業を実施し、事業に関わる人材を育成する。 ・未実施校の学校・地域・保護者等に、開設の必要性を説明する。 ・実施校の学校・地域・保護者等に、わいわい広場の意義や遊びの効用について普及啓発を行う。 ・関係団体説明、市HP、企画事業など、あらゆる機会を捉えて、わいわい広場の意義や遊びの効用について普及・啓発を行う。	<b>②結果アウトプット</b> (活動の結果、どうなるのか) ・研修やPW育成講座等により、現場責任者・市民・学生等が、遊びの必要性、子どもへの適切な関わり方、自発的な遊びについて理解する。 ・未実施校の学校・地域等への説明により、わいわい広場開設に向けた協議が行われる。 ・実施校の保護者等への普及・啓発などにより、登録者数や参加者数が増えるとともに、見守りサポーターが増える。	<b>③中間アウトカム</b> (その結果、対象はどうなるのか) ・学校・地域等が開設を承諾し、運営事業者の公募・選定を経て、わいわい広場が新規開設される。 ・子どもたちが、外で遊ぶようになり、遊ぶ時間や遊ぶ人数が増える。 ・異学年交流や、主体的な遊びが増える。 ・わいわい広場や運営協議会などを介して、学校・地域・保護者等のネットワークが形成される。	<b>④最終アウトカム</b> (その結果、市としてどうなるのか) ・地域での遊び場に関する市民の満足度(評価)が高まる。 ・子どもたちのコミュニケーション能力が向上する。 ・子どもたちの体力や運動能力が向上する。 ・子どもたちが、思いやり深く我慢強くなる。 ・子どもたちが、自分に自信が付き好きになる。 ・子どもたちの情緒不安定の解消。 ・地域で、子どもを見守り育む機運が高まる。																																																																																
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">わいわい広場の登録者数</td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td>増加</td> <td>H 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>12,429</td> <td>13,819</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">わいわい広場の参加者数</td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td>増加</td> <td>H 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>208,233</td> <td>242,788</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	わいわい広場の登録者数	目標			増加	H 年度	実績	12,429	13,819			達成率					わいわい広場の参加者数	目標			増加	H 年度	実績	208,233	242,788			達成率					<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">わいわい広場の開設校数</td> <td>目標</td> <td>12</td> <td>11</td> <td rowspan="3">11</td> <td>H31年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>11</td> <td>8</td> <td>(全校区)143</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>91.7%</td> <td>72.7%</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">参加前と比較して、遊びの効用による良い変化があったと回答した保護者の割合(3年毎に調査予定)</td> <td>目標</td> <td></td> <td>-</td> <td></td> <td>H 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>80</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度	わいわい広場の開設校数	目標	12	11	11	H31年度	実績	11	8	(全校区)143	達成率	91.7%	72.7%		参加前と比較して、遊びの効用による良い変化があったと回答した保護者の割合(3年毎に調査予定)	目標		-		H 年度	実績	80	-			達成率				
	指標の内容			年度	実績		目標																																																																													
H27年度		H28年度	H29年度		最終年度																																																																															
わいわい広場の登録者数	目標			増加	H 年度																																																																															
	実績	12,429	13,819																																																																																	
	達成率																																																																																			
わいわい広場の参加者数	目標			増加	H 年度																																																																															
	実績	208,233	242,788																																																																																	
	達成率																																																																																			
指標の内容	年度	実績		目標																																																																																
		H27年度	H28年度	H29年度	最終年度																																																																															
わいわい広場の開設校数	目標	12	11	11	H31年度																																																																															
	実績	11	8		(全校区)143																																																																															
	達成率	91.7%	72.7%																																																																																	
参加前と比較して、遊びの効用による良い変化があったと回答した保護者の割合(3年毎に調査予定)	目標		-		H 年度																																																																															
	実績	80	-																																																																																	
	達成率																																																																																			



# 事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

事業名	中高生夢チャレンジ大学	
所管課	子ども未来局子ども部総務企画課	背景 事業を始めた理由(きっかけ)は何か 若者の社会的・職業的自立が課題となっており、中高生の体験や活動の場の充実について、議会や審議会等においても指摘を受けていた。
開始年度	平成24年度	
根拠法令	なし	
行政計画	なし	

基本計画			
施策コード	主	7-5-1	
	再		
分野別目標	創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している		
施策	チャレンジする若者や女性が活躍するまちづくり		
事業群	若者の体験・活動の場や機会づくり		
施策成果指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講座の満足度</li> <li>・自分には創造力があると気づいた生徒の割合</li> </ul>		

## 【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか	中学生・高校生
	対象をどのような状態にしたいのか	自分の可能性や創造力に気づき、自分の強みや個性を生かした職業や将来を考える。
事業目的		

実施内容(手段)	平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか	参加者: 82名(中学生43名, 高校生39名)
	①開校式	・自らの創造性に気づくワークショップを実施。
	②講座	・9講座の中から2講座以上受講。 ・福岡で活躍する職業人から、人生観・職業観を直に学ぶ。
	③閉校式・交流会	・未来の自分への誓いを立てる。 ・振り返りワーク。

事業費(千円)			
平成28年度決算額(見込額)			
歳出合計	7,088		
歳入	特定財源	0	
	一般財源	7,088	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	H27	H29
歳出合計	8,229	6,088	
歳入	特定財源	1	0
	一般財源	8,228	6,088

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)					②結果アウトプット (活動の結果, どうなるのか)					③中間アウトカム (その結果, 対象はどうなるのか)					④最終アウトカム (その結果, 市としてどうなるのか)	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・夢チャレンジ大学の周知を図る。(チラシ・市政だよりの配布, ホームページ・Facebook, 新聞広告等)</li> <li>・開校式, 講座, 閉校式の実施。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの中高生が夢チャレンジ大学に参加し, 様々なプログラムを受講。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の創造性に気づき, 自分に自信を持つ。</li> <li>・自分の将来を考える。</li> <li>・社会への参画意識, 職業意識が培われる。</li> <li>・コミュニケーション能力, ネットワーク形成能力が向上。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもや若者が, 目標に向かって様々なことにチャレンジし活躍する。</li> <li>・福岡の将来を担う若者ネットワークが構築され, 都市の活力が向上。</li> </ul>			
	活動の指標	参加人数	実績		目標		100	実績		目標		100	実績		目標		
			年度	H27年度	H28年度	H29年度		最終年度	年度	H27年度	H28年度		H29年度	最終年度	年度	H27年度	H28年度
		目標	150	100		H32年度	目標	100	100		H32年度	目標	100	100		H32年度	
実績		89	82		100	実績	97.3	97.3		100	実績	95.3	97.1		100		
	達成率	59.3%	82.0%		100	達成率	97.3%	97.3%		100	達成率	146.6%	147.1%		100		
	目標				H年度	目標	65	66		H32年度	目標	65	66		H32年度		
	実績					実績	95.3	97.1		100	実績	95.3	97.1		100		
	達成率					達成率	146.6%	147.1%		100	達成率	146.6%	147.1%		100		